

マルセイユ：マルセイユ市中心部の治安情勢について

2015年9月13日早朝、マルセイユ市中心部、オペラ座の前にある24時間営業のバーに向けてカラシニコフ等が乱射され、バーの警備員1人が死亡、客等5人が負傷する事件が発生しました。この地区は、昼間は人通りが多い観光スポットですが、深夜～明け方は各種犯罪が多発しております。深夜営業をしている店は警備員を雇っており、一定の防犯効果をあげていますが、逆にこの警備員がトラブルの原因になるケースも報告されています。

深夜帯の外出はできるだけ控え、やむをえず外出する場合は、貴重品の携帯や単独行動を避けるなどして、くれぐれも犯罪被害にご注意ください。